

助成事業実施報告書

令和元年 11 月 13 日

熊本放送文化財団  
理事長 浅山 弘康 様

団体名 熊本オペラ芸術協会

代表者名 会長 出田 敬三



住所 〒 861-3295  
熊本県上益城郡御船町滝川 1658  
連絡先 096-282-6910

下記の通り助成事業実施報告を致します。

日時	令和元年 9 月 20 日 (金) 19 : 00 開演
会場	熊本県立劇場 演劇ホール
事業名	熊本オペラ芸術協会 2019 サマー・オペラフェスティバル ミュージカル「砂浜のエレジー」～肥後の石工恋唄～
事業内容	1 部では当協会会員が有名なオペラアリアや重唱などを舞台美術、照明、演出を伴ったステージで演奏。第 2 部は熊本地震復興を祈念して作られた出田敬三作曲、ミュージカル「砂浜のエレジー」～肥後の石工恋唄～が初演された。地震と津波で最愛の人を失った石工の林蔵が悲しみを乗り越えて立ち上がる姿をヒロイン・アサとの恋模様を交えて描かれたこの作品は古木信子の原作・ナレーション、松岡優子の脚本・演出。ピアノ、電子キーボード、電子オルガン、パーカッションによるオーケストラ、ソリスト、平成音楽大学学生の合唱が出田敬三の指揮のもと音楽と演出とが一体となった舞台が繰り上げられた。
参加者数	100 名
入場者数	796 名
添付書類	1. 助成事業報告書 2. 収支決算書 3. プログラム、チラシ

熊本オペラ芸術協会 2019サマー・オペラフェスティバル  
「砂浜のエレジー」舞台写真



【収支決算書】

(収入の部)

(単位：円)

費 目	金 額	積 算 の 基 礎
補 助 金	700,000	熊本文化プログラム支援事業 50万 RKK 20万
チケット収入	2,188,000	S席 4,000、A席 3,000(当日券 500円増)
プログラム広告	729,670	
協会繰越金	751,962	
収 入 合 計	4,369,632	

(支出の部)

(単位：円)

区分	費 目	金 額(円)	積 算 の 基 礎
経 費	会場費	683,540	熊本県立劇場演劇ホール、リハーサル室等使用料、付帯設備
	印刷費	430,164	チラシ、チケット、プログラム
	謝礼	608,000	出演者、オーケストラ、スタッフ 等
	出演者交通費	120,000	出演者(東京在住)交通費
	通信費	57,986	郵送料、電話代など
	著作権	188,082	日本音楽著作権協会
	舞台監督	120,000	舞台監督料
	舞台大道具	991,440	吉本美術
	舞台道具	108,000	M.V.P. アート
	音響・照明	584,280	舞台風
	運送費	75,600	ヒサノ運送(楽器等運搬)
	衣装 他	88,337	石工衣装、小道具など
	広告費	42,120	熊日広告
	その他	9,533	文具、振込手数料など
	小 計	4,407,082	
そ の 他 の 経 費	研 修 費	2,800	石匠館入館料
	需 用 費	146,790	
	(食料費)	146,790	レプション補助 39,000、弁当 77,050 など
	委 託 料	112,960	ピアノ調律 12,960 DVD制作 100,000
	公 課 料	0	
		小 計	262,550
	支 出 合 計	4,369,632	

熊本地震復興祈念

熊本オペラ芸術協会 2019サマー・オペラフェスティバル

ミュージカル  
砂浜のイレジー

～肥後の石工恋唄～ < 新作・初演 >

2019年(令和元年)9月20日(金) 18:30開場 19:00開演

熊本県立劇場 演劇ホール

■主催／熊本オペラ芸術協会 ■協力／平成音楽大学

■後援／熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県文化協会、熊本日日新聞社、

NHK熊本放送局、RKK、TKU、KKT、FMK、FM791、KAB、響和会(平成音楽大学・熊本音楽短期大学同窓会)

■助成／熊本文化プログラム支援事業

プログラム

1部

オペラ・歌曲名曲

- オペラ「カルメン」より“ハバネラ” ..... G.ビゼー作曲  
カルメン(メゾソプラノ) 桑原理恵      ピアノ 真鍋協子
- オペラ「フィガロの結婚」より “もう飛ぶまいぞこの蝶々” ..... W.A.モーツァルト作曲  
フィガロ(バリトン) 浦山 鷹      ピアノ 真鍋協子
- オペラ「シャモニーのリンダ」より “この心の光” ..... G.ドニゼッティ作曲  
リンダ(ソプラノ) 青木萌乃      ピアノ 真鍋協子
- ドイツ歌曲「ミルテの花」より “献上” ..... R.シューマン作曲  
オペラ「ナブッコ」より “来なさい、神に仕える者よ!” ..... G.ヴェルディ作曲  
ザッカリア(バス) 岩本貴文      ピアノ 白石由子
- オペラ「ワリー」より “さよなら、故郷の家よ” ..... A.カタラーニ作曲  
オペラ「つばめ」より “ドレッタの美しい夢” ..... G.プッチーニ作曲  
ワリー/マグダ(ソプラノ) 原 富美子      ピアノ 岡田祐子
- オペラ「蝶々夫人」より “花の二重唱” ..... G.プッチーニ作曲  
蝶々夫人(ソプラノ) 志岐由理子      スズキ(メゾソプラノ) 桑原理恵      ピアノ 真鍋協子

休憩



ミュージカル「砂浜のエレジー」～肥後の<sup>いしく</sup>石工恋唄～ 〈新作・初演〉

作曲 出田敬三

原作 古木信子      脚本 松岡優子

演出 松岡優子

指揮 出田敬三

### キャスト

林 蔵 ..... 下司愉宇起

ア サ ..... 赤池 優

居酒屋の親父 ..... 出田秀尚      居酒屋の女将 ..... 村橋和子

石工職人(頭領) ..... 宮川健一郎

石工職人・村の男たち ..... 芦刈剛信・山本楽音・木下真礼  
藤永彩由・畠田順矢・本井祐希  
岸田憲明

村の女たち ..... 平成音楽大学 女声合唱団「平成カンマーコール・S」

●舞 ..... 平成音楽大学よさこいサークル「響華」

●ナレーション ..... 古木信子

●オーケストラ ..... 平成音楽大学E.O.オーケストラ

ピアノ・電子キーボード 白石有佳理

電子オルガン 楠田美保

パーカッション 木村祥乃

〃 鳥越 歩

〃 山下 司

♪♪ { B.G.M.ピアノ演奏/真鍋協子 }  
     { ピアノのための「砂浜のエレジー」(出田敬三作曲) } ♪♪

スタッフ

- 美術・大道具製作 ..... 吉本政弘  
M.V.Pアート (1部)
- 音響・照明 ..... 西田和政
- 映像 ..... 浅川浩二
- 小物制作 ..... 高松知江美
- 衣裳・メイク ..... 中村貴美子
- ステージマネージャー ..... 安武 秀・西林博子
- 舞台監督 ..... 潮田憲正
- 
- ダンス振付け ..... 松岡優子
- ダンス指導助手 ..... 讀井智恵
- バックステージ ..... 脇山 純・柏尾剛徳
- スクリプト ..... 中島由莉・白石有佳理
- 公演マネージャー ..... 浦上仁史・宇都香織・村田靖弘
- 
- 総合スタッフ ..... H.A.E.P.  
(平成音楽大学アート・イベント・プロジェクト)  
永脇信敬・中島由莉・銭神嘉男・飯牟禮佐千子
- 平成音楽大学学生  
(ミュージック&ビジュアルコース/サウンドデザインコース)  
松寄吾道・井上誠也・柏木 峻・山田朝日・蔵元里奈  
吉田沙耶・飯屋智也・田島 凜・田代雅弥・種本玲星  
中島規佑・松岡修也・水野稜大
- 熊本オペラ芸術協会会員  
春日信子・平田エミ・赤星百合子・篠原恵理・村中丈子  
福田恵加・日隈美早紀・井上由惟
- 制作・公演統括 ..... 佐伯文子・桑原理恵・村橋和子

協力：平成音楽大学



## 曲目解説



### [1部]

#### ■オペラ「カルメン」より“ハバネラ”

G. ビゼー作曲

カルメンが最初に登場する場面で歌われるアリア。衛兵のホセは真面目で愚直な男で、カルメンになど目もくれない。それが面白くないカルメンは、とりまきたちに囲まれて歌いながら、「私が惚れると危険だよ」とホセを挑発する。

#### ■オペラ「フィガロの結婚」より“もう飛ぶまいぞこの蝶々”

W.A. モーツァルト作曲

第1幕の最後、フィガロによって歌われるアリア。伯爵の怒りをもって軍隊行きを命じられたケルビーノを「もう飛ぶまいぞ、この蝶々。昼も夜も休まず、花の心を惑わす罪作りな蝶々」と、フィガロはからかいながら励ます。

#### ■オペラ「シャモニーのリンダ」より“この心の光”

G. ドニゼッティ作曲

フランス、シャモニー村に住む貧しい小作人の娘、リンダは画家のカルロと恋に落ちる。彼に会うために出かけたリンダは、カルロが置いていった花束に結婚への想いを馳せ、愛の喜びを歌う。

#### ■ドイツ歌曲「ミルテの花」より“献上”

R. シューマン作曲

連作歌曲「ミルテの花」(全26曲)の第1曲目。シューマンの「歌の年」と呼ばれる1840年に作曲された。ドイツでは花嫁がつける花冠にミルテの花が使われる。「あなたは私の魂、私の心…」というこの歌をシューマンは花嫁となるクララに献上した。

#### ■オペラ「ナブッコ」より“来なさい、神に仕える者よ!”

G. ヴェルディ作曲

1842年に初演されたG. ヴェルディ3作目のオペラ。ヘブライの大祭司ザッカリヤが、バビロニアの王ナブッコより破壊された神殿と祖国そして人々の信仰心の復活を祈りこのアリアを歌う。

#### ■オペラ「ワリー」より“さよなら、故郷の家よ”

A. カタラーニ作曲

1800年頃のチロル地方を舞台とする全4幕の恋愛悲劇オペラ。富裕な地主の娘ワリーは、狩人ハーゲンバツハに惹かれる。しかし父親はワリーを執事ゲルナーと結婚させようとする。第1幕で愛する人と一緒になるために家を出る決意をしたワリーが歌うアリア。

#### ■オペラ「つばめ」より“ドレッタの美しい夢”

G. プッチーニ作曲

パリのとある豪華なサロン。友人である詩人のブルニエが新作の詩を歌い始めるが、最後を歌いあぐねている。マグダはそれを引きつぎ「ドレッタの美しい夢」を歌う。すると詩人ブルニエが「あなたはつばめのように夢の国へと海を渡っていくが、また元の巣に戻ってくるだろう…」と彼女の人生を占う。

#### ■オペラ「蝶々夫人」より“花の二重唱”

G. プッチーニ作曲

ピンカートンがアメリカに帰って3年。ピンカートンがアメリカ人女性と結婚したことを知らず、3歳になる息子と侍女のスズキとひたすらピンカートンの帰りを待ちわびて暮らしている。港で大砲が鳴り、アメリカの軍艦が入ってくる。「彼が戻ってきた! 私の愛が勝った」と蝶々さんは喜び、「部屋を花で一杯にしましょう」と、スズキと花びらを摘んで部屋に撒きはじめる。



ミュージカル「砂浜のエレジー」～肥後の石工恋唄～〈新作・初演〉

■ストーリー

江戸時代後半、九州の有明海の沿岸に肥後「竜の浜」という村があった。

竜の浜は、当時の人々の暮らしを豊かにした石橋を手がける石工を多く輩出していた。

中でも一際、目覚ましい活躍を見せた石工、林蔵。

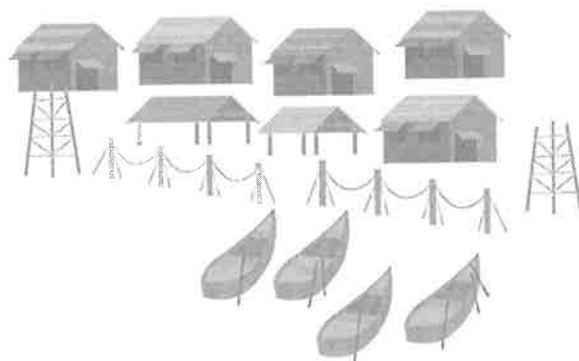
実直に仕事に打ち込む林蔵に運命的な出会いが訪れる。

名前も知らない女性への初めて感じる恋心に狼狽する林蔵は仕事が手につかない。

その様子を見かねた石工仲間たちは、行きつけの居酒屋に林蔵を連れ出す。

仲間たちの応援、居酒屋の女将のはからいもあって、林蔵と林蔵が見染めた女性、アサとの恋は見事成就。

幸せの絶頂にある林蔵だったが……。



■ミュージカルシーン&ナンバー

- Scene1 プレリユード（前奏曲）  
♪ 砂浜のエレジー
- Scene2 活気溢れる石工たち  
♪ 石工職人たちのうた
- Scene3 居酒屋  
♪ 石工たちの独唱・重唱
- Scene4 林蔵とアサの出会い  
♪ 盆踊り唄
- Scene5 林蔵の一目惚れ  
♪ 林蔵のアリア
- Scene6 林蔵、心ここにあらず
- Scene7 居酒屋ふたたび
- Scene8 盆踊り  
♪ 盆踊り唄  
♪ 林蔵とアサのデュエット
- Scene9 こどもの誕生  
～アサと子どもを襲った津波
- Scene10 アサとの約束  
♪ 居酒屋親父のアリアと  
女将とのデュエット  
♪ アサのアリア
- Scene11 海を見守るアサの石仏  
♪ 砂浜のエレジー  
♪ 林蔵とアサのデュエット


 練習風景
 

制作発表 (8月13日/平成音楽大学サテライトステージ)

